

## メキシコ向けの輸出について ～中南米担当:大和 ダニロ～

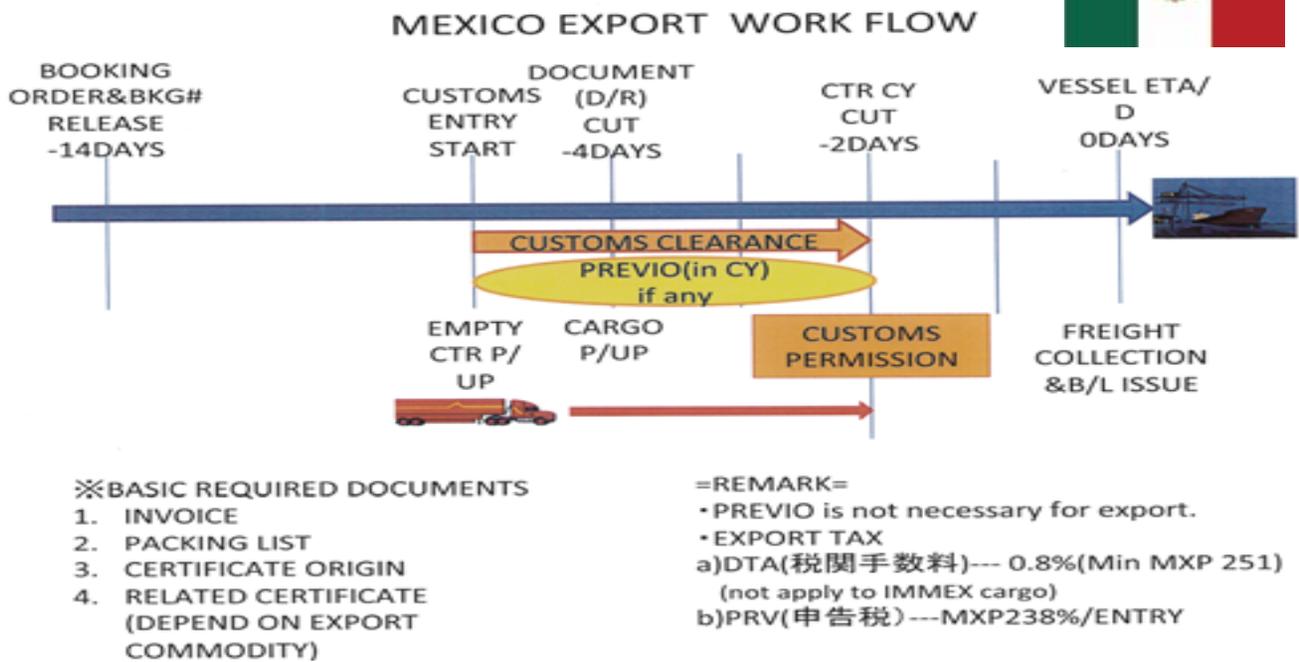


海外営業部(中南米担当)の大和ダニロでございます。  
現在は主に中南米案件の見積からBOOKINGまでを一手に引き受けております。  
さて、今回はメキシコへの輸出事情と、FREETIMEについて掲載をします。最近ではニュースや新聞で多くメキシコという文字を見るようになり、大々的に“自動車生産で世界5位を目指す”という目標を掲げています。2014年には単年で814社の日系企業がメキシコに進出しており、この数字は2010年と比較すると単純に倍の数になっています。メキシコは現在ブラジルを抜き自動車生産台数第7位となり、掲げているこの目標は絵空事ではなく、おそらく2020年にはこれを達成するのではとされています。今年の4月にはトヨタ自動車が2019年までに年間20万台の生産が可能な工場を新設することを決めており、今後も数年間は活発な日系企業の進出が続くとも言われています。  
さらに、今年の10月に妥結を迎えたTPP交渉の影響により今後は重要な輸入相手国として、日本としても大事なパートナーとして付き合いしていく必要があります。

情熱羅針盤  
ジャパントラストかわら版



### メキシコからの輸出コンテナの通関・搬出までのフロー



\* プレビオの実施は輸出ほど積極的に行われてはならず、実施は通関業者の判断により行われます。

### 🌐メキシコの豆知識

【FREETIME起算方法（日本出し-メキシコ輸入編）】

メキシコ輸入時のFREETIME起算方法には注意が必要です。

メキシコでは基本的には船社がCYにコンテナ搬入を完了した日からカウントをスタートします。(DEMMURAGEとDETENTIONの概念はありません。)

例) 7日のFREETIMEがあった場合は、

12/1:Discharge/CY搬入完了 ~通関/コンテナデポや諸費用納付/PICK UP~ 12/7:コンテナ返却完了

12/7コンテナ返却までがFree Timeとなります。

但し、船社によっては着岸より起算を開始する船社もあり注意が必要です。FREETIMEについて柔軟交渉が可能ですので、ご要望がございましたらなんなりと営業担当もしくは大和までご連絡ください。



お問い合わせ先: [dayamato@jpnttrust.co.jp](mailto:dayamato@jpnttrust.co.jp)